

- CEO and Chairman of the Management Board of Deutsche Bahn AG (2009-17)



Topics

- Business
- Corporate Leadership

Rüdiger Grubeはドイツで最も有名なリーダーの一人です。2009年から2017年にかけてドイツバーンAGの取締役会の最高経営責任者兼会長を務め、欧州有数の港湾物流会社であるハンブルガー・ハーフェンおよびロジスティクスAG HHLAの代表取締役会長を務めています。

Messerschmitt-Bölkow-Blohmでの金属製航空機製造の技術トレーニングの後、Grubeはハンブルグにある応用科学大学で自動車工学と航空機製造の研究を行い、資格のあるエンジニアとして卒業しました。その後、ハンブルク大学で職業教育とビジネス教育を学びました。1981年から1986年までハンブルグで生産工学の副教授を務め、1982年には1986年にビジネスと雇用の研究の博士号を取得する前に、航空機工学と生産のためのハンブルク職業学校の講師も務めました。

その後、Messerschmitt-Bölkow-Blohmのフリーランスコンサルタントとして働き、その後、MBBとDeutsche Airbus GmbHおよびDaimler-Benz Aerospace AGのいくつかの管理職に就きました。1996年から1999年まで、彼はDaimler-Benz AGおよびDaimlerChrysler AGの上席副社長および企業戦略責任者でした。2000年にHäussler-GruppeのCEOを務めた数ヶ月後、DaimlerChryslerに、企業開発担当上級副社長兼統合後統合責任者として戻り、その後、取締役会のメンバーになりました。2007年から2009年までは、GrimmはDaimlerChrysler AG後のDaimler AGの取締役会のメンバーであり、企業の発展と株式の持分ならびに合併と買収を担当し、2004年以降は北東アジアの全事業を担当していました。2009年から2017年まで、彼はDeutsche Bahn AGの取締役会会長兼CEOを務めました。

Grubeは、Hyundai MotorsとMcLaren-MercedesとMitsubishi MotorsとHamburg-Port Authority HPAなどの企業の多数の監督委員会および取締役会のメンバーでもあります。2009年以来、彼はドイツ銀行の諮問評議会のメンバーであり、アリアンツ・カンパニーとAllianz SEの合同諮問評議会のメンバーです。